

## 地圏資源環境研究部門の中嶋 健氏が 「石油技術協会賞（論説賞）」を受賞

地圏資源環境研究部門燃料資源地質研究グループ長の中嶋 健氏が、2018年6月12日（火）に、新潟市朱鷺メッセにおいて開催された石油技術協会の第83回定時総会において、「石油技術協会賞（論説賞）」を受賞されました。

同賞は石油技術協会賞選考規定に基づき、「石油・天然ガス鉱業に関する学問、技術上の優れた論説、短報、総説、資料、解説、討論、講演を石油技術協会誌に発表した著者に贈呈する」ものです。受賞論文名は、中嶋 健（2016）「深海チャンネル-自然堤防-海底扇状地システムの貯留岩形態・根源岩ポテンシャルに関する最近の知見」石油技術協会誌、81巻、1号、33～45頁です。

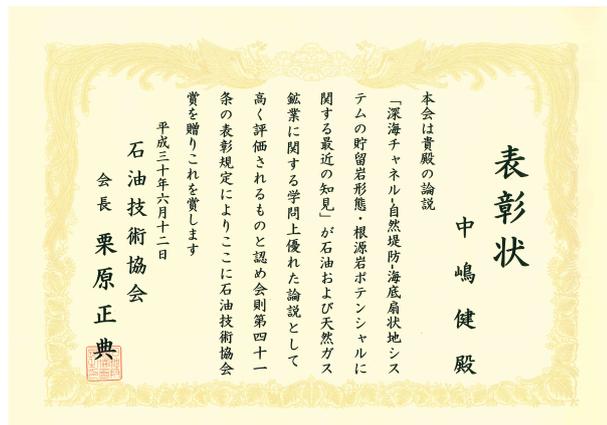
受賞論文は、深海成砂岩に関する中嶋氏が発見した3つのトピックスを集めて紹介したもので、その内容は“outer-bank bars”と呼ばれる深海チャンネル内部の今まで知られていなかった新たな貯留岩についての話題、海底自然堤防形態から貯留岩性状を予測できる可能性についての話題、そしてハイパーピクナイトと海底扇状地の根源岩ポテンシャルについての話題から構成されています。特に最後の話題は、洪水起源のハイパーピクナル流と呼ばれる混濁流が、陸源有機物を深海まで運ぶプロセスとして重要であることを示唆したものであり、提案された“海底扇状地が貯留岩としてだけでなく、石油根源岩にもなり得る”との仮説は、今後の石油根源岩論の大きなテーマとなることが予想されます。

受賞論文の内容は、いずれも石油業界に対して大きな貢献につながりうる成果で、中嶋氏の今後のさらなる活躍を期待いたします。

（産総研 地質調査総合センター地圏資源環境研究部門）



授賞式での中嶋氏（左）と栗原正典会長（当時）（右）  
（徳橋秀一氏撮影）



中嶋氏に授与された石油技術協会賞の賞状

表彰内容と受賞者は石油技術協会のWEBサイトに掲載されています（2018年8月30日 確認）。

石油技術協会 表彰（第62回 石油技術協会賞） <http://www.japt.org/gyouji/hyosho/index.html>